

武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部

教育後援会ニュース

No.19

2025.2



学科全体会：生活環境

今年度も地域別教育懇談会が開催されました。この地域別教育懇談会は、父母等の皆様と本学教員が直接言葉を交わし、ご息女の学業を始めとする日々の様子を知っていただく貴重な行事となっております。さて、本部会場（西宮）では9月28日（土）に中央、浜甲子園、上甲子園の各キャンパスで同時開催し、公江記念講堂で行われた全体会の様子は各会場へ配信されました。辻村教育後援会会長の挨拶、瀬口学長の挨拶に引き続き、



瀬口学長



学科全体会：情報メディア、社会情報

教育の現状と取り組みとして、徳重学生部長からは「学生生活について」、蓬田教務部長からは「MUKOGAWA COMPASS」新・人材育成方針 新しい武庫女教育の実践にむけて、内田キャリアセンター長からは「就職活動について」それぞれ説明がありました。全体会には440名の参加者があり、短い時間ではありましたが、皆様には真剣に耳を傾けていただけたことと思います。



学科全体会：健康・スポーツ科

地域別教育懇談会（本部会場）開催内容

（2024年9月28日実施）

全体会 公江記念講堂 12:30～
（上甲子園キャンパス及び浜甲子園キャンパスはYouTube配信）

- 教育後援会会長・学長挨拶
- 教育の現状と取り組み
学生部（学生生活について）
教務部（MUKOGAWA COMPASS～新・人材育成方針
新しい武庫女教育の実践にむけて）
キャリアセンター（就職活動について）

学科全体会 各学科会場 13:20～

個人懇談 研究室等 14:30～

共通プログラム（自由参加） 各相談部署にて 14:00～

- 各種相談（就職・教職・留学・奨学金・学寮・クラブ他）
- キャンパス見学（自由散策）11:00～
（附属図書館、日下記念マルチメディア館、公江記念館他）



学科全体会：食物栄養

その後、学科別全体会の会場に移動いただき、各学科で特色のある全体会を実施しました。全学科合わせて469名の参加者があり、学科独自の取り組みや、内定をもちつた在学生や就職して第一線で活躍している卒業生の就職活動の体験報告など、ご息女の頑張りへの気づきや家族として協力できるヒントなど、参



共通プログラム：就職相談

考にしていただけの話もあつたのではないのでしょうか。更に個人懇談をお申込みいただいた父母等の皆様は、学業のことや授業中の様子など、担任やゼミの担当教員と直接相談いただけるまたとない機会となったかと思えます。また、奨学金のことや、留学、一般就職や教職などのご相談いただける窓口を設け、父母

目次

- 地域別教育懇談会 1.2
- 会長・支部長あいさつ 3
- 就職活動体験談 4
- キャリアセンターだより 5
- 教育後援会事業紹介 6
- 教育後援会支援報告 7
- SPOT LIGHT
卒業証書・学位記授与式のご案内 8



共通プログラム：教職相談

等の皆様のご質問に対応させていただきます。お忙しい中、足をお運びくださった皆様、「来てよかった、また来たい」と感想をいただけるよう更なる改善を行ってまいります。これからもご息女の成長と共に教育懇談会の発展を目指します。ご意見、ご要望などがありましたら事務局までお聞かせください。

各地の地域別教育懇談会

～高松・福岡・広島～

支部会場「高松、福岡、広島」の3地区においても父母等に参加いただき開催することができました。(金沢会場は台風接近のため中止)

大学からは瀬口学長をはじめ、辻村智子教育後援会会長、各学部・学科の代表教員が会場に向き、支部の父母等の皆様に少しでも大学に親しみを感じていただき、ご息女の教育について理解をしていただきたいの思いから、地域別教育懇談会を支部でも開催させていただいています。

教育の現状と取り組みについて学生生活及び学生支援を学部より、授業や成績関係を教務部より、一般就職についてキャリアセンターから専門的な知識と共に最新の就職情報の説明がされました。

また、在学生(就職内定者)に就職活動体験談を発表していただき、Uターン就職を含めたより身近な話題を提供しています。学生の生の声で具体的な経験のお話を聴けて良かったという意見をいただきました。

続く個人懇談会では、成績、担任やゼミ担当教員からのこ



全体会



個人懇談会



一般就職相談

メントなどをもとに、じっくりと個々のお話を学科教員としていただきました。

同時に学長懇談・一般就職相談・教員就職相談・就職活動体験講演者のコーナーを設けて、父母等からの相談に対応しました。

参加者の父母等からは、「直接教員とお会いしてお話や相談ができた」、「娘の学生生活の様子がよく分かりとても安心した」、「学長懇談が和やかで良い雰囲気だった」、「参加してよかった」という声が多く聞かれました。

地域別教育懇談会は大学と父母等との情報交換や支部のつながりを深める良い機会となっております。ぜひご息女と一緒にご参加ください。

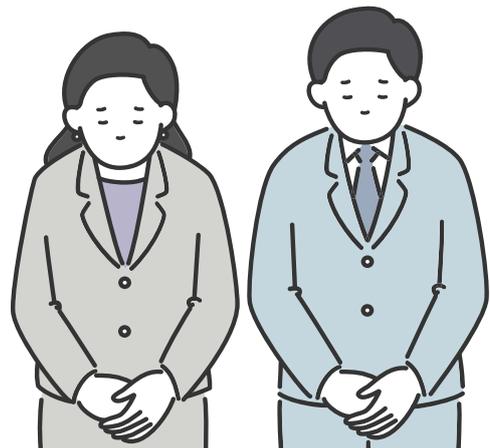
(次年度の開催日程は本ページ下に記載)

令和6年度の参加者数

開催場所	期日	会場	参加者数
高松会場	8月25日(日)	リーガホテルゼスト高松	39人
金沢会場	8月31日(土)	台風接近のため中止	—
福岡会場	9月7日(土)	福岡ガーデンパレス	23人
広島会場	9月8日(日)	リーガロイヤルホテル広島	19人
本部会場	9月28日(土)	大学中央キャンパス、他	333人
*個人懇談会出席者数			合計 414人

金沢会場開催中止のお詫び

8月31日に開催予定だった金沢会場は、台風10号の影響を受けて、やむを得ず中止となりました。開催を心待ちにしてくださっていた皆様にはご迷惑をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。次年度も金沢会場での開催を予定しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



令和7年度地域別教育懇談会(予定)

開催場所	期日	会場
高松会場	8月24日(日)	リーガホテルゼスト高松
金沢会場	8月30日(土)	ANAクラウンプラザホテル金沢
福岡会場	9月6日(土)	福岡ガーデンパレス
広島会場	9月7日(日)	リーガロイヤルホテル広島
本部会場	9月27日(土)	大学中央キャンパス、他

ご案内は令和7年7月に発送する予定です。ご都合の良い日・会場をお選びいただけます。

支部会場と本部会場との複数参加も可能です。

教育後援会会長・支部長あいさつ



教育後援会会長
辻村 智子

平素より皆様には教育後援会の活動にご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。

本年度も地域別教育懇談会を支部3会場(北陸支部は台風のため、残念ながら中止)と本部会場において、

無事に開催することができました。瀬口学長をはじめ、各学部、学科の先生方とのお話や相談ができ、就職内定者による体験談など、父母等の皆様にはご息女の大学での様子や就職状況を身近に知っていただける、よい機会となっております。今回、ご参加いただけなかった皆様も是非、ご参加をお待ちしております。

本会は大学と連携し、学生の皆さんがより良い環境で学生生活を送れますように支援して参ります。今後とも教育後援会活動へのお力添えを賜りますよう、よろしくお願いたします。

来年は奥能登の復興が進み、また金沢会場に多くの父母等の皆様にご参加くださることを願っております。
ご息女の学生生活がより充実したものとなるよう引き続きのご理解ご協力をお願いいたします。

今年度は、台風の影響により残念ながら開催が叶わず、自然の猛威に憎らしさを感じますが、準備等にご尽力いただいた皆様方に深く感謝申し上げます。
その意味で地域別懇談会は、学長をはじめ諸先生方との面談のみならず在学生の就活状況も聞くことができる大変有意義な場です。



Lavy
© Mukogawa Women's University

このような大変有意義な時間を設けていただいたことに深く感謝いたしますとともに、引き続き父母等の皆様には、ご理解ご協力をよろしくお願いたします。

地域別教育懇談会では、大学の様子や就職活動の体験談、個人懇談や就職相談など、大学を身近に感じることができ、またご出席の皆様との交流の中で様々な情報を得ることもできます。今後もより多くの方々にご参加いただけますよう教育後援会の一員として努めてまいりますので、お力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

教育後援会の活動は皆様のご理解、ご協力をいただきより良い学生生活を過ごせるよう支援していくことを目的としております。皆様の積極的なご意見、ご参加をお待ちしております。

例年開催されております教育懇談会では各地域に先生方にお越しいただき、教育・成績・就職・学生生活に関する情報を提供いただける場となっております。ぜひご参加ください。

北陸支部長



大家 弘聡

中国支部長



山本 洋司

四国支部長



西野 暁子

九州支部長



中原 登

日頃より父母等の皆様には、教育後援会への深いご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、令和6年能登半島地震と奥能登豪雨の発生により、大学関係者も含め被災された全ての方々におかれましては、一日も早く平穏な日々が戻りますように心よりお祈りいたします。

日頃より皆様におかれましては、教育後援会にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
今年度も地域別教育懇談会が対面で実施され、瀬口学長をはじめ、就職活動体験談の学生さん、諸先生方のお話を聞くことが出来ました。特に忘れられないのは、先生から娘の進路に対する意外な思いを聞いたことです。驚きと共に、親元を離れ生活する娘の成長に気付かされました。

父母等の皆様におかれましては、日頃より教育後援会の活動にご理解、ご協力を賜り御礼申し上げます。親元を離れて生活するご息女の父母等の皆様には、なにかと心配事が多いかと思えます。本会は皆様の不安を和らげるべく、大学と協力しながら活動を行っております。

父母等の皆様におかれましては、教育後援会の活動で理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。
昨今の国内外の状況は変化が目まぐるしく、私たちが過ごしてきた時代や価値観、社会情勢など大きく変化しております。皆様におかれましてもご息女のキャンパスライフや将来の進路を気に掛けられていること存じます。
大学生活を過ごす彼女らは成人ではあるものの、まさにモラトリアム期間を過ごしております。長くて短い期間ですが、この期間を過ごすご息女への支えやご理解をさらに深めてみてはいかがでしょうか。

地域別教育懇談会では、「就職活動体験談」と題し、卒業生・在学生に、活動中に感じたこと、気付き、両親への思いなど多岐にわたる話をさせていただいています。今年度の内容の一部をご紹介します。

「キャリアセンターを強い味方に」

私は、英語力を活かすことができ、人と直接関わる事ができる仕事に就きたいと初めから考えていました。自分がしたい仕事ができれば勤務地にはこだわりがなかったのですが、地元の企業だけではなく関西の企業も視野に入れていました。3年生の後期からは少しでも興味を持った企業のインターンシップに参加し、各企業への理解を深めていきました。インターンシップに参加することで得られることはとても大きいため、参加に迷った時はまずは参加してみて、自分自身の適正を判断することが大切であると考えます。

そして、この頃から就活ノートを作成し、インターンシップで得たことや学んだことを企業ごとにまとめ、いつでも見返せるようにしておきました。ノートには企業が説明する内容だけでなく、「雰囲気が良い、自分に合っていない」といった感想も記入し、自分に合っていない企業は「雰囲気が良い、自分に合っていない」と記入し、これは就職活動が本格化してからも続けることで、自分に合っている企業を選ぶ際に非常に役立ちました。また、先輩からのアドバイスもあり、就職活動が解禁すると忙しくなるため、エントリーシートに記載する自己PR、学生時代に頑張ったことは3年生の2月のうちにある程度完成させておきました。

の方は就職活動に対して何から何まで親身になって寄り添い、適切なアドバイスをしてくださるため、利用して本当に良かったと思います。対面だけではなくオンラインでも利用することができるため、実家に帰省している間もオンラインで面接練習をしてもらっていました。

就職活動体験談

私が悔いなく就職活動を終えることができたのは、キャリアセンターの方をはじめ先輩や家族など、周りの人たちの支えがあったからだと考えます。また、友人と頻りに連絡を取り合い、情報共有や一緒にZoomを繋いで面接練習をしたことが刺激になっていました。これから就職を始める人には、大変なこと多いとは思いますが、時には自分の好きなことで息抜きしつつ、悔いのない就職活動にしてほしいと思います。

「周りの人の支えが あればこそ」

私が就活を始めたのは2年生の夏ごろでした。私は新しいことを始めるまでに時間がかかってしまうため、早めに就活を始めることで気持ちを落ち着けていました。2年生の時は職業の分野を絞らず、広く企業の情報を集めたり、オンラインの会社説明会に参加し、インターネット上でできる就職活動を行いました。



した。地元の就活サイトやホームページなどからも情報を集めました。早めに就活を始めることで、一つ上の学年の就活状況を知ることができ、就職活動全体の流れを把握できる良い機会になったと思います。

3年生になってからは気になる企業をリストアップし、説明会やインターンシップに参加しました。インターンシップでは他校の学生との交流があり、就活方法や就職先についての意見交換をしました。就活は個人戦だと思っていますが、色々な人の意見を聞くことで視野が広がり、就職への近道や新しい道が開けると思います。個人で有利に戦うためにも、友達や先生、親と話すことは大切だと感じました。また、インターンシップは会社の雰囲気を知る一番の近道です。近年、オンラインでの面接や会社説明会が主流で、私も就活の大半がオンラインで行われました。大変便利でしたが、社員さんとの交流や質疑応答の際は対面と比べ少しコミュニケーションが取りづらいと感じました。気になる会社があった場合、対面で行うインターンシップに参加すると社員さんの雰囲気ばかりやすいと思います。

3年生の冬から4年生の春にかけて、就活は本格化していきました。エントリーシートや履歴書の提出、面接日程の調整など、細かなスケジュール管理が求められました。いつでも日程を確認、変更できるようにスケジュール管理でスケジュール管理を行いました。いくつかの予定が同時に進んでいくため、数ヶ月は緊張感を持って過ごしました。

(中略)

就活は個人戦ですが、周囲の支えで負担が軽くなる時があります。就活の悩みを聞いてアドバイスをくれた父と母にはとても感謝しています。長く、緊張感のある時間でしたが、社会人になる前の良い準備期間になったと思います。

各会場で講演いただいた方々(敬称略)

- 高松会場 吉田 幸絵(大英)
- 福岡会場 笹井 愛未(大環)
- 福岡会場 福永 梨夏(大情)
- 広島会場 中畑 美紀(食創)
- 柳川 祐香(大環)
- 山川 紗依(食栄)
- 瀬谷 帆乃(大日)
- 長田 優花(大日)
- 竹内 鈴花(大英)
- 平野 佑奈(大英)
- 安井明日香(新教)
- 中辻まなみ(太心:心理)
- 松本 実来(太心:心理)
- 高畑陽菜乃(太心:福祉)
- 中津留もえ(太心:福祉)
- 佐々木友香(健スポ)
- 志々目璃奈(健スポ)
- 久場 愛香(大環)
- 西 香帆(大情)
- 櫻木 萌香(大食卒)
- 秦野 紗都(食栄)
- 大原 愛弓(食創)
- 日下 雛子(景観修了)
- 元田 奈緒(建築修了)
- 中村 早紀(大演卒)
- 上野 由貴(大応)
- 宮城 澤(新薬卒)
- 大川 万葉(健生薬)
- 中島 香音(健生薬)
- 山口 真依(大護)
- 細岡 咲希(経営)
- 松尾 来美(経営卒)

本部会場で講演いただいた方々(敬称略)

「ガクチカ」の意味 — 就活の基礎工事

キャリアセンター センター長
内田 正博

コロナ禍で対面活動が禁止され著しく移動や交流が制限されたことにより、「ガクチカ難民」という語さえ浮上し、一時は「ガクチカ」否定論が当然のごとく語られたことがありました。しかしそれは、ガクチカに対する誤解だといえるでしょう。ガクチカに付きまとうイメージとして、誰もが注目するような華やかな活動がありますが、それは、ガクチカの一面でしかありません。

ガクチカの本来の意味は、衆目を集める派手な経験だけではありません。たとえ目立たないことであっても、その人自身にとって、文字通り「学生として力を入れてがんばったこと」を意味します。例えば、自分の学費をアルバイトで支払う母子家庭の短大生がいました。彼女にとっては、海外ボランティアはおろか部活でさえ夢のまた夢。彼女にできるガクチカは学業

とアルバイトだけでしたが、その両立に全力で取り組み、就活も見事にやり遂げました。ガクチカは学生の数だけあるのです。

今、社会や企業が求めるのは、人から言われて動く「指示待ち人間」ではなく、自分から問題や課題を見出し、その解決に向けて仲間と協力しながら、正解のない問題に取り組む主体的な人間です。したがって、学生時代に、できれば仲間とともに、自発的に何かに、特に問題解決に打ち込んだ経験は、きわめて大切です。力を入れる対象は学生によって異なるのは当然ですが、学業、部活、サークル、ボランティア、留学、アルバイト、趣味など学内外の諸活動の何かに打ち込み、失敗や挫折を含めて多くの経験を積むことが求められます。学生生活の充実、結果的に就活の最強最善の準備となり、何より就活に備える揺るぎない基礎工事となります。

【最近の就職活動】

2025年3月卒業予定の大卒求人倍率は1.75倍(出展:株式会社リクルート「ワークス大卒求人倍率調査」。前年1.71倍より0.13ポイント上昇)。不透明な景況感や原材料価格の高騰などにより依然として厳しい業界はあるものの採用意欲は増加傾向にあります。

また、学生の皆さんの希望も安全志向が続いており、大企業希望者は3年連続で増加しています。早い段階から志望動機や自己PRが明確に主張できるようになっていないと内定獲得が難しくなっています。

2026年3月卒業予定者対象の採用活動時期も前倒しの傾向があり、インターンシップへの参加など早期から主体的に活動している学生ほど内定を獲得するケースが増えています。

【キャリア・就職等相談】

「大学で友人と会ってもあえて就活の話話を話題にしにくい」と不安を感じている学生の声を聞きます。そのような時にはぜひキャリアセンターをご利用ください。

キャリア・就職相談では、専門のキャリアカウンセラーが対面とオンラインによる個別面談を実施し、一人ひとりの悩みに寄り添っています。カウンセラーとやりとりをすることで不安が軽減されることもあります。ご息女にとって、初めての就職活動です。さまざまな不安解消のためにも、ぜひキャリアセンターの利用をお勧めください。

MUSESのキャリア支援メニュー「キャリア・就職等相談申込」から予約をすることができます。



主な就職活動支援内容

就職活動の方法に変化はあるものの、大事なことは変わりません。まずは「情報収集」から始めましょう。自分自身の振り返りを行う自己分析、社会や仕事について情報を収集する業界・企業・職種研究など自分と社会を改めて知ることが大切です。そして、働きたいと思える企業を選択できる力を身に付けましょう。

情報収集の一つのツールとして、MUSES「キャリア支援メニュー」があります。就職相談の予約やガイダンスの申し込み、企業・求人・セミナー・インターンシップ・Uターン情報の参照、OG情報の検索など、さまざまな機能があり、武庫女生限定の情報も満載です。最終的には「進路報告」メニューからご息女ご自身の卒業後の進路を入力していただけます。



<主な取り組み>

●各種セミナー・ガイダンス(無料)

➡早期からキャリア形式を考え、社会人基礎力をつけるキャリアセミナーや就職活動に役立つガイダンスを多数実施しています。

●筆記試験対策(有料)

➡SPI模試、玉手箱対策講座など年間を通じてオンライン受講できる講座を数回実施しています。

●インターンシップ・就業体験

➡企業等で一定期間行う、実習・研修的な就業体験です。社会で求められる知識や能力を認識できる良い機会となっています。実施方法は対面かオンライン、企業によってさまざまです。

●企業見学ツアー(オープン・カンパニー)

➡スタッフが引率して、企業等のオフィスや現場を見学します。実際に自分の目で確かめることは将来の目標設定や適性発見、業界研究・企業研究に役立ちます。

<セミナー・ガイダンススケジュールはこちらから>

<https://info.mukogawa-u.ac.jp/career/schedule/>



就職活動に関する教育後援会からのご支援ありがとうございます！

学内合同業界研究会・企業説明会

2026年3月卒業予定者対象の学内合同業界研究会・企業説明会を、1月22日、23日、2月5日、6日、7日、13日、14日、3月4日、5日、4月21日の10日間にわたって行います。約270社の企業に参加していただき、対面とオンラインで実施する予定です。武庫女生を積極的に採用したいという企業と出会うチャンスです。ぜひ、参加をお勧めいたしますよう、よろしくお祈りいたします。

就活特訓講座

毎年、学生の申し込みが非常に多い人気講座「就活特訓講座」を今年度も随時、実施しております。オンライン版、対面版両方の経験ができるようにプログラムを工夫しています。

【エントリーシート編】6月～3月(予定)

【グループディスカッション・グループ面接編】6月～3月(予定)

※企業の動きを見ながら適宜開催します。そのため開催時期が前後することがあります。最新の情報はキャリアセンターホームページをご覧ください。



教育後援会事業紹介



学生傷害見舞金



「合格者サイト」[STUDENT GUIDE -For Campus Life]で内容について触れておりますが、改めてこの「学生傷害見舞金」について説明いたします。

「学生傷害見舞金」とは、本学学生が「正課中の事故による傷害」および「本学公認団体（クラブなど）又は公認ボランティア団体による正規の活動（以下、学友会活動）中の傷害」に対して、教育後援会より支給される見舞金です。保険金ではありません。規程により見舞金算出方法、対象期間、申請期限が定められております。

過去の事故による傷害の一例を挙げます。正課では、「制作中にカッター刃でのケガ」「実習中に子供達と一緒に遊んだ際のケガ」などです。学友会活動では、「運動中の接触によるケガ」「運動中の転倒によるケガ」などがあります。令和5年度は、正課中27件、学友会活動中が33件、合計60件ありました。見舞金の支給合計金額は、1,199,228円でした。

約2年から6年に渡る大学生活は、学費などの経済的負担が父母等の皆さんにとって一番大きな時期ではないでしょうか。この学生傷害見舞金事業は、万が一の時、治療費、入院費の負担を少しでも抑えようという教育後援会の相互扶助の考えに基づきます。

事故に遭わないに越した事はありませんが、万が一、正課中、学友会活動中にケガをした場合は、すぐに（規程により申請期限が定められているため）学生課へ連絡してください。

教育後援会奨学金

「教育後援会奨学金」は、経済的理由により学業の達成が困難であると認められる者に対し、授業料の一部を貸与して学業を達成することを目的としています。

本奨学金の詳細は、右記をご確認ください。出願時期になりましたら、募集要項や出願書類を学内ポータルサイト(MUSES)にてお知らせいたします。

その他、質問等ございましたら、学生課奨学金担当(0798-45-3603)までお問い合わせください。

出願対象	<ul style="list-style-type: none"> 卒業学年に在籍し、当年度末に卒業要件を満たし、卒業が見込まれる者 卒業後の就職先が内定（内々定を含む）している者
出願資格	下記①～③をすべて満たすもの ①家計困窮により、当期授業料の支払いが困難な者 ②就職が内定（内々定を含む）し、返済が見込まれる者 ③家計基準が、日本学生支援機構奨学金第一種基準内にある者
貸与額	当年度授業料の1/2～1/5相当額を希望により、選考
返還期日	卒業後5年（最長8年）以内に年賦で返還
他奨学との併給	併給可
出願期間	前期：5月上旬～6月上旬 後期：10月下旬～11月上旬
支給予定日	前期：7月上旬 後期：12月上旬

教育後援会支援報告

教育後援会では学友会行事に対し「学生生活諸活動補助費」や「研修費」という形で支援しています。今年度の委員長より、行事を終えて一言、報告をいただきました。

第69回 文化祭 (文化祭実行委員会)

第69回武庫川女子大学文化祭が無事に終了しました。

今年度の文化祭では、大学初の試みとなる「FM 80.2公開収録in武庫川女子大学」をはじめ、新たな企画に挑戦しました。企業との日程調整や出演団体の時間管理に苦勞し、全体スケジュールの把握に加えて各企画の進行にも細心の注意が必要でした。また、時にはメンバー間で連携がうまくいかない場面もありましたが、話し合いを重ねることで課題を一つひとつ解決し、信頼関係を深めながら最後まで実行委員会一丸となって文化祭を成功に導くことができました。

この文化祭実行委員会での経験を通して、メンバー全員が成長を実感できたと思います。

最後になりますが、文化祭開催にあたりご協力いただいた教職員の皆様や関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

第60回 体育祭 (体育祭実行委員会)

第60回体育祭は、体育祭史上初の1日開催となり、多くの学外の方々にもお越しいただきました。

「Sparkling Festival ～輝くプリンセス～」をテーマに、約80名の実行委員が当日に向けて全力で準備に取り組みました。ドッジボールや竹取物語(棒引き)をはじめ、抽選会に参加できるミニゲームも企画しました。また、武庫女の伝統である「応援合戦・ステージ」には4団体が、部活動発表には3団体が参加し、それぞれが素晴らしい演技を披露して体育祭を彩ってくれました。この伝統を来年も継承し、さらに充実した体育祭の実現を願っております。

最後に、体育祭の開催にあたりご協力いただいたすべての皆様に厚くお礼申し上げます。



マリンスポーツ講習会 (運動部委員会)

沖縄県のオクマビーチにおいて、マリンスポーツ講習会を開催しました。

美ら海水族館やシュノーケル、ダイビング、国際通りの観光などもすることができ、とても充実した4日間を過ごすことができました。特にシュノーケルとダイビングは天気にも恵まれ、カラフルな魚を間近で見ながら泳ぐことができ、一生の思い出です。インストラクターの方にたくさん声を掛けていただき、安心して楽しんで体験することができました。

今回講習会に参加された皆さんから「楽しかった」「良い思い出を作ることができた」「また来年も参加してみたい」という声をたくさんいただきました。また、様々な学年や学部から参加していただいたので、普段とは違う会話をすることができたり、たくさん交流をすることができました。参加してくださった皆さん本当にありがとうございました。

献血活動 (総務委員会)

献血活動は総務委員会が主となり、厚生委員会の協力を得ながら、年2回実施しています。

前期は6月、後期は11月に、中央キャンパスと浜甲子園キャンパス、それぞれで実施いたしました。6月は80名、11月は86名の方々に献血していただきました。

当日は献血できなかった方もおられましたが、興味や関心を持って献血ブースに足を運んでくれました。

来年の献血活動では、さらなる周知を行うための工夫を凝らし、前・後期それぞれで献血人数120人を目指します。

クリスマスツリー点灯式 (総務委員会)

総務委員会主催のクリスマスツリー点灯式が12月13日(金)もみの木広場にて行われました。もみの木を彩る煌びやかなイルミネーションのもと、学生部長の徳重先生のお話や、学内団体である浜甲カンタービレや手話部、ダンス部、エアロビクタンダンス部のパフォーマンスが披露されました。寒い中でも多くの学生や教職員が参加し、歌声や拍手で大盛況のイベントとなりました。学内の噴水広場周辺や樹々にもイルミネーションを施し、クリスマス気分を盛り上げました。

昨年とは違ったデザインを考えるのは大変でしたが、多くの人に楽しんでいただくためにもやりのある行事となりました。



教育後援会ではクラブ活動に対し「学生諸活動補助費」という形で支援しています。今回はその中から文化部のコーラス部と運動部の陸上競技部を紹介します。



コーラス部は現在、1年生4人、2年生1人、3年生2人の計7人で活動しています。部員同士の距離が近く、仲の良さや団結力は武庫女のどの部活動にも負けない自信があります。

日々の練習に加え、オープンキャンパスや文化祭に向けて夏休みには夏合宿を行いました。また、3月の定期演奏会に向けて1月や2月は強化練習を行います。先生方のご指導のもと、一人ひとりの個性を活かし、私たちが創れない音楽を創ることができるよう日々練習に励んでいます。年間でステージに立つ機会は少ないですが、ひとつひとつのステージに出演できる喜びを大切にしています。

今年度は文化祭で講堂での演奏に加え、模擬店でペーパーカステラ屋を出店しました。文化祭やステージを通して指導教員の先生だけでなく、家族や友人など、たくさんの方々に支えられていることを実感しました。

今年度は2025年3月8日(土)に、第57回定期演奏会を神戸市立灘区民センターで開催いたします。ぜひお越しください。心よりお待ちしております。

今後ともコーラス部の応援をよろしくお願いたします。



陸上競技部は部長、副部長、監督、コーチ計7人、4年生5名(マネージャー1名)、3年生12名(マネージャー1名)、2年生19名、1年生11名、計45名の選手と2名のマネージャーで活動しています。

第72回大阪学生陸上競技対校選手権大会兼第90回兵庫学生陸上競技対校選手権大会では総合準優勝、第101回関西学生陸上競技対校選手権大会では総合第4位、フィールドでは優勝、混成では準優勝、天皇賜盃第93回日本学生陸上競技対校選手権大会ではフィールド第6位、個人では、船田茜理が走幅跳、二段跳ともに選手権を獲得、石田さつきが10000Wで第2位となりました。

今年度のチーム「凜紡(りんぷう)」は、自身が、普段の練習で培った実力やチーム力などを紡ぎ、凜とした姿勢で見せることができるようになるという願いを込めたチーム名です。個人競技といえども、普段の練習ではみんなでお互いに技術を高め合い、お互いの目標を尊重し支え合うチームを目指し一年間頑張ってきました。

今後は、これまでの思いを繋ぎ、さらに毎日の努力の先に大きな花を咲かせることのできるようなチームにしていきたいと思えます。これからも陸上競技部をよろしくお願いたします。



令和6年度 卒業証書・学位記授与式

今年度の大学・短大卒業式は下記の予定で挙行いたします。式典に関する最新情報、詳細の内容は、後日ホームページ・MUSES(学生専用ポータルサイト)にてお知らせいたしますので、ご確認ください。

大学卒業式

開催日時		対象学部	開催場所
令和7年(2025年) 3月19日(水)	10:00~	文学部、建築学部、音楽学部、看護学部	中央キャンパス 公江記念講堂
	14:00~	教育学部、食物栄養科学部、薬学部	
令和7年(2025年) 3月20日(木・祝)	10:00~	健康・スポーツ科学部、生活環境学部、経営学部	

短大卒業式

開催日時	対象学科	開催場所
令和7年(2025年) 3月21日(金)	全学科	中央キャンパス 公江記念講堂



教育後援会ニュースは、大学のホームページ「父母等の方」のページで閲覧することができます。
ホームページアドレス <https://www.mukogawa-u.ac.jp>



今後も、より良い教育後援会活動を行えるよう、ご意見・ご感想等ございましたら、学生部までお寄せください。